

北朝鮮による弾道ミサイル発射時の対応について

徳島県立鳴門高等学校

1 Jアラート等を通じて弾道ミサイル発射に係わる緊急情報が県内に発信された場合

(1) 登校前の場合 ⇒ 自宅待機

なお、自宅待機は、「弾道ミサイルが日本の領海外の海域に落下したとの情報」や「日本上空を通過したとの情報」が発信されるまでとし、各自で情報を確認し安全が確認され次第に登校となります。なお、下記の行動例に従い、不審物や落下物には近寄らないようにしてください。

(2) 登下校中の場合 ⇒ 近くの建物等に避難

登下校中の場合は、下記の行動例に従ってください。

なお、「弾道ミサイルが日本の領海外の海域に落下したとの情報」や「日本上空を通過したとの情報」が発信されるまでとし、各自で情報を確認し安全が確認され次第に登校または下校となります。なお、不審物や落下物には近寄らないようにしてください。

(3) 在校の場合 ⇒ 学校待機

教室の場合は、机の下に身を隠す。体を低くし頭を守り動かない。体育館・グラウンドでは、身を伏せて頭部を守るようにしてください。(避難行動)

なお、下記の行動例を参考にしてください。

2 臨時休業等について

学校が臨時休業となる場合は、ホームページでお知らせします。

※参考

Jアラート等を活用した緊急情報が発信された行動例

- 【屋外にいる場合】できる限り建物の中、または地下などに避難する。
- 【建物がない場合】物陰に身を隠すか、地面に身を伏せて頭部を守る。
- 【屋内にいる場合】窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

ミサイルが着弾した場合の行動例

- ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして屋内を密閉する。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通じて、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。